

生活科学習指導案

授業者 崎田 香緒里

1. 日時 平成 28 年 11 月 2 日 5 校時

2. 学年・組 第 1 学年 2 組 27 名 (男子 9 名・女子 18 名)

3. 場所 1 年 2 組 教室

4. 単元名「野比小学校へようこそ」

5. 単元目標

幼児（保育園生）との交流活動やそれまでの計画を通して、自分と友だち・幼児とのかかわりに関心を持ち、自分の生活や幼児へのかかわり方について考えるとともに、相手に優しくしたり進んで交流したりすることができる。

6. 評価規準

【生活科への関心・意欲・態度】

- ①友だちや幼児などに関心をもってかかわろうとしている。
- ②伝えたいことを見つけたり、集めたりしようとしている。

【活動や体験についての思考・表現】

- ①誰に何を伝えるかを考え、伝えたいことを選んでいる。
- ②幼児との交流でやってみたい遊びや、学校の中で案内してみたい場所を選んでいる。
- ③友だちや幼児とのかかわり方や、遊びのルールや学校の約束について考えている。

【身近な環境や自分自身への気付き】

- ①幼児や友だちと関わることの楽しさが分かり、交流することの良さに気付く。
- ②自分のことや伝えたいことが相手に伝わる楽しさが分かる。
- ③言葉や表情、しぐさなど、多様な伝え方があることに気付く。

7. 単元について

本単元は、学習指導要領生活科の内容（8）「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」から設定したものである。

幼児との交流は、児童にとって身近な人と関わることの楽しさを実感できる絶好の機会である。一度きりの交流では、仲良くなるのに精一杯で、なかなか活動が広がらない。そこで、2回の交流を通して活動を広く展開し、幼児と児童のかかわりあいを深めていきたいと考えた。

1回目の交流（遊び）では、児童が考えた遊びを幼児に教えたり、一緒に遊んだりして楽しさを分かち合う。年少者に対して、優しくしてあげたい、教えてあげたい、一緒に遊びたいなどという思いをきくと誰でも持つであろう。交流の中で幼児に遊びを教え、一緒に楽しみつつ、年少者に教えることの楽しさや大変さなどに気付かせていきたい。

2回目の交流（学校案内）では、幼児が安心して学校に通うことができるためにどんなことを教えたらいいかを、児童たちにじっくりと考えさせ、教える準備を行う。一生懸命に考えて案内した結果、幼児が喜んでくれると、児童は大きな達成感を味わうことができるであろう。また、入学後も交流が続いていく姿も期待できる。

そして、この一年で自分自身の大きな成長があったからこそ、幼児と上手に楽しく交流することができたことに気付かせていきたい。

8. 児童の実態

本学級の児童は、どの教科の学習でも進んで意見を言ったり、友だちの話を聞いたりすることができる。また、学習の中で分からないことが出てきたときは、恥ずかしがらずクラスで共有し、みんなで解決の糸口を探ることができる。どの児童も友だちに優しいので、困っている友だちがいると傍に行って手伝ったり、教えたりすることもできる。一方で、友だちがちよっとふざけたり言い間違えたりした時に注意する声が、厳しくなってしまうことがある。同じようなことを数人で何度も注意するので、教室の雰囲気暗くなってしまふ。「失敗は成功のもと」を合言葉に、自分が言われて嬉しい言葉や嫌な気持ちにならない言葉を使うようにさせていきたい。

<生活科について>

児童それぞれに、「こんな活動がしたい！」という強い思いを持って学習に取り組むことができている。児童の思いを大切にしながら、授業を進めるように心がけているが、自分の思いをなかなか話せない児童もいるので、どうやって思いを聞き出していくかが課題である。

<支援が必要な児童について>

支援が必要な児童の中には、話を一度で理解できない児童、ひとつひとつの作業になかなか集中できない児童、自分の思考が先立って他者の発言を遮ってしまう児童などがある。野比小学校で取り組むユニバーサルデザインのモデルに沿って支援を行いながら、より良い支援の方法を見つけていきたい。

9. テーマを具現化するための生活科におけるユニバーサルデザインの手立て

テーマ「豊かな学びを創り出す のびっ子の育ち」

サブテーマ「～支援教育の視点を取り入れた わかる授業づくり～」

研究推進委員会から提案された「わかる授業づくり ユニバーサルデザインのモデル」を手立てとする。その中でも、以下の3点には特に重点を置いて取り組みたい。

① 視覚教材の活用

校内の教室や特別教室等を撮影した、写真カードを使用する。児童が幼児に紹介したい教室を発言した時、どんな教室かイメージしやすくし、児童の思考が豊かになっていくと考えられる。

② 発問・指示

モデルに示されている、「子どもがわかる言葉を使う」「ゆっくり、はっきり、簡潔に話す」「一指示一作業」「全体への指示の後、支援が必要な児童に名前を呼びかけてから個別に同じ指示を繰り返す」といった配慮を意識して行うようにする。他にも、指示を黒板に箇条書きにし、それぞれが黒板を見て活動できるような配慮も取り入れていく。

このような発問・指示ができれば、児童にとって分かりやすい授業になり、安心して授業に参加できるようになると考えられる。

③ グループ学習

グループ学習は、どの児童にも自由に話す機会を与えられる。特に、普段なかなか自分の意見を言えない児童が自分の言葉で話したり、意見はあまりなくても、友だちの意見を聞いて自分はどうか感じたのか意思を固めることができ、その児童の自信につながると考えられる。

10. 指導計画（全15時間）

教師の投げかけ

ねがい

子どもの予想

気付き

学習の流れ	時間	教師の指導・支援	評価の確認と方法
第1次 保育園さんと仲良くなろう！			
<p>保育園さんが楽しめる遊びを考えよう。</p> <p>①計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 知っている遊びを、全員で考え発表する。 どんな遊びをするか、話し合う。 <p>→グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに決めたことを発表する。 <p>C：小学校で楽しく過ごして欲しいな。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> モデルに沿った発問の仕方・指示の出し方を心がける。 <p>→発問・指示</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の中からあまり遊びが出てこなかった時は、教師側からもいくつか提案する。 	<p>【思・表②】</p> <p>幼児との交流でやってみたい遊びを選んでいる。</p> <p>（発言 つぶやき）</p>
<p>②幼児を迎える練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園さんがいるつもりで、実際に動きを確認する。 <p>→グループ学習</p> <p>保育園さんが楽しめるために、もっと良くしたほうが良いところはあるかな。</p> <p>C：もっとゆっくり話したほうが、保育園さんは聞きやすいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 予行練習をしてみて、良かったところや改善点などを話し合う。 	3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> 自分が幼児だったらどう感じるかなど、相手の立場に立って気持ちを考えさせるようにする。 	<p>【気③】</p> <p>言葉や表情、しぐさなど、多様な伝え方があることに気付く。</p> <p>（発言 つぶやき）</p>
<p>③幼児を迎える。</p> <p>→グループ学習</p> <p>C：保育園さんを楽しく過ごさせてあげたい。</p>	5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> 幼児とのかかわりを積極的に行えるよう、個々に支援していく。 	<p>【関①】</p> <p>幼児に関心をもってかかわろうとしている。</p> <p>（行動 つぶやき）</p>

第2次 保育園さんに学校を案内しよう！			
<p>④学校案内に向けて、計画を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の交流を振り返る。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">保育園さんに学校を案内しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にある教室の名前を挙げる。 <p>→<u>視覚教材の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児に案内したい教室を5箇所にする。 <p>→<u>グループ学習</u></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">C：校庭は、体育の授業や休み時間によく使うから、案内しよう。 C：毎日使う1年生の教室も教えてあげるといいね。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">教室を回る順番を考えよう。</p> <p>→<u>グループ学習</u></p>	7 本 時 ・ 8	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルに沿った発問の仕方・指示の出し方を心がける。 <p>→<u>発問・指示</u></p>	<p>【関②】 伝えたいことを見つけたり、集めたりしようとしている。 (発言 つぶやき)</p> <p>【思・表①】 誰に何を伝えるかを考え、伝えたいことを選んでる。 (発言 ワークシート)</p>
<p>⑤学校案内で使うものを準備する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">C：教室に平仮名の看板を付けたら、見やすくなるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板 ・プレゼント など <p>(児童から出てきた意見を優先)</p>	9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えに沿ったものが作れるよう、支援していく。 	<p>【関②】 伝えたいことを見つけたり、集めたりしようとしている。 (発言 製作)</p>
<p>⑥学校案内の練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児がいるつもりで、実際に動いて確認をする。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">保育園さんが楽しめるために、もっと良くしたほうが良いところはある</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">C：保育園さんが迷子にならないように、手をつないであげると良いか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予行練習をしてみて、良かったところや改善点を話し合う。 	11 ・ 12	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が幼児だったらどう感じるかなど、相手の立場に立って気持ちを考えさせるようにする。 	<p>【思・表①】 誰に何を伝えるかを考え、伝えたいことを選んでる。</p>

<p>⑦幼児と学校案内を行う。</p> <p>C：保育園さんに学校のことを知ってもらいたい。</p>	<p>1 3 ・ 1 4</p>	<p>・幼児とのかかわりを積極的に行えるよう、個々に支援していく。</p>	<p>【気②】 自分のことや伝えたいことが相手に伝わる楽しさが分かる。 (行動 つぶやき)</p>
<p>⑧活動を振り返る。</p> <p>C：相手の気持ちを考えて話かけたり説明したりするのは、大変だった。 C：わたしも1年前は保育園さんみたいに教えてもらっていたけど、今は保育園さんに教えられるようになった。</p> <p>C：来年1年生が入学してきた時も、私たちが優しくしてあげたい。</p>	<p>1 5</p>	<p>・来年度園児が入学してきた時に、自分たちはどう接していきたいか、見通しをもって考えさせる。</p>	<p>【気①】 幼児と関わることの楽しさが分かり、交流することの良さに気付く。 (発言 ワークシート)</p>

<p>T: 同じグループの友だちが考えた意見を聞いてみよう。友だちと相談しながら、学校案内で回る教室を5つ選ぼう。</p> <p>●グループごとごとに話し合う。</p> <p>C: せっかく紹介するなら、1年生になった時によく使う教室が良いと思う。</p> <p>4. まとめ (全体)</p> <p>T: 紹介したい教室を発表し合おう。</p> <p>C: 私の班は、校長室を選んだよ。</p> <p>C: 僕の班も、校長室を選んだよ。</p> <p>C: 私の班は、1年2組の教室を選んだよ。</p>	<p>・案内する場所は、5箇所に限定しない。子どもの話し合いの進みに併せて増減させることもある。</p> <p>・あまりにも案内する教室が少ないグループには、声掛けをして支援していく。</p> <p>→<u>グループ学習</u></p> <p>・グループカード (磁石) を使いながら、発言を整理していく。</p>	<p>【思・表①】</p> <p>誰に何を伝えるかを考え、伝えたいことを選んでいく。</p> <p>(発言 ワークシート)</p>
--	---	---

(3) 板書計画

11/2

ほいくえんさんに 学校を あんないしよう！

10/30

ほいくえんさんと あそんだよ

きょうしつ	たいいくかん	としょしつ	りかしつ
7 8	7	8 9	7 8 9
ほけんしつ	校ちょうしつ	しょくいんしつ	げたばこ
7 8 9	8	8 9	7



1年生になったとき
よくつかうところ

(4) 座席表

◎…リーダー性

★…支援を要する児童

☆…自分の考えを表現できない児童

黒板

		10班	10班 理解力★	8班 ☆	8班	7班 ☆	7班
12班	10班	10班 ◎	10班	8班 ◎	8班 ☆	7班	7班
12班 ☆	12班	11班 集中力★ ☆	11班	9班	9班	9班 理解力★ 集中力★	9班 ◎
12班 ☆	12班	11班	11班	11班◎			

学校あんないカード

() はん
名まえ ()

きょうしつ の なまえ

どんな ところ?

どうやって つかう ところ?

わけ

} など
